

平成 31 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2019年12月21日(土) 13時～15時 会場 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

13時～15時 本人交流会

3. 当日の様子

参加者数 12人（内訳：当事者 3名、家族 4名、専門職 5名）

4. 様子

年末という事でクリスマス会を兼ねて交流会を開催しました！

久しぶりに参加される方も数名いて、近況報告をしながら談話が弾み…夫婦で通いだしたピアノ教室が3年目を迎えるという嬉しい報告もありました。

コーディネーターから県外の若年性認知症当事者が「もっと家族も本人も認知症という病気について家族間で話し合うべき」と話していた声を報告すると、参加家族から「当事者が気持ちを表現できる内から話し合いをする必要がある」との意見があり、本音で話し合える場が大切だと情報共有・認識する機会となりました。

後半はギターの奏でる音楽に合わせて、当事者も声を合わせて歌い、楽しい時間を過ごしました♪



次回:2020年1月18日(土)13時～15時

以上